

平成 23 年度 授業評価・授業研究報告書  
大学院：教科教育専攻  
授業科目名：教科内容の歴史的 analysis と解説  
保健体育講座・石井浩一

## 1. 授業概要

科目区分：大学院教科教育専攻

科目名：教科内容の歴史的 analysis と解説

担当教員名：石井浩一

登録学生数：2

### 1-1 授業の目的

「現在」を知るためには、「過去」を知る必要がある。これは、多くの著名な学者が述べていることである。

すなわち、「現在の体育」を知るためには、過去の体育という教科がどのような歴史的背景をもって展開してきたかを分析する必要がある。

ただし本授業では、日本に限定し、体育史の文献資料を元に、歴史的 analysis と解説を行うことを目的とする。

### 1-2 授業の到達目標

1-2-1 日本体育史の大まかな流れを説明できる。

1-2-2 資料上の過去の体育教材を自分のからで表現できる。

1-2-3 教科内容が変遷した理由を説明できる。

### 1-3 関連するディプロマ・ポリシー(DP)

1-3-1 教育及び専門分野に関して高度な専門的知識を習得している。(知識・理解)

1-3-2 教育をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方策を適切に考えることができる。(思考・判断)

### 1-4 授業の方法、形態

日本の体育の教科内容に限定して、『近代日本学校体育史』(岸野雄三、竹之下休蔵共著、東洋館出版社、1959)を解説しながら、分析を進めていく方法を採用した。

ただし、受講生に前もって尋ねたところ、戦後の体育については、すでに他の授業で講義を受けているとのことだったので、扱わないことにした。

また、上記文献の補足資料として、適宜

印刷物や『図説世界体育史』(東京教育大学体育史研究室著、新思想社、1964)を参照させた。

### 1-5 内容の概要

第 1～2 回：明治第一期の体育の教科内容の歴史的 analysis と解説

第 3～4 回：明治第二期の体育の教科内容の歴史的 analysis と解説

第 5 回：明治第三期の体育の教科内容の歴史的 analysis と解説

第 6 回：明治第四期の体育の教科内容の歴史的 analysis と解説

第 7～8 回：大正第一期の体育の教科内容の歴史的 analysis と解説

第 9～10 回：大正第二期の体育の教科内容の歴史的 analysis と解説

第 11 回：昭和第一期の体育の教科内容の歴史的 analysis と解説

第 12 回：昭和第二期の体育の教科内容の歴史的 analysis と解説

第 13 回：運動会の変遷の歴史的 analysis と解説

第 14 回：日本におけるスポーツ教材、体操教材の移入課程の歴史的 analysis と解説

第 15 回：総括

1-6 今年度、特に意識して取り組んだこと  
大学院のカリキュラムが変わり、初めての試みだったが、第 1 に意識したことは、文献を読み込み、読み解く力をつけさせたい、ということであった。

近年、メディアの報道等でもわかるように、大学生の読書量は、確実に減っている。ましてや、難しい専門書を読む時間はあま

り確保されていないのではないか。このような認識から、本講義では、特に上記のことを意識して進めていった。

## 2. アンケート結果

Q1 教員の話し方や説明はわかりやすいですか？

とてもわかりやすい  
まあまあわかる：2  
わかりにくい  
全くわからない

Q2 教員の進度は適切ですか？

かなり速すぎる  
やや速すぎる：2  
適切である  
やや遅すぎる  
かなり遅すぎる

Q3 授業のレベルは適切ですか？

かなり難しすぎる  
やや難しすぎる  
適切である：2  
やや易しすぎる  
かなり易しすぎる

Q4 教員は、授業を改善するよう努力していましたか？

改善の必要がなかった  
そう思う：2  
あまりそう思わない  
全くそう思わない

Q5 シラバスに即した内容の授業が行われていましたか？

とてもそう思う：1  
まあそう思う：1  
あまりそう思わない  
全くそう思わない

Q6 あなたは、シラバスに記載されているこの授業の到達目標に達したと思いますか？

とてもそう思う  
まあそう思う：2  
あまりそう思わない  
全くそう思わない

Q7 この授業は全体的に満足のいくものでしたか？

とてもそう思う：1  
まあそう思う：1  
あまりそう思わない  
全くそう思わない

Q8 この授業の良い点について書いて下さい。

- 体育の歴史を紐解くことで、今現在の教育にも改めて、必要なものが見えてきた。
- 昔のことを探ることの奥深さを感じた。
- 広い範囲で体育の歴史を知ることができた。
- 戦前の体育の歩みについて、新しい知見を得られたこと。
- 毎回のノート提出により、資料内容の理解が深化したこと。
- 戦後の体育との関連が見えてきたこと。

Q9 この授業の改善すべき点について書いて下さい。

- 個別史についてももう少しふれたかった。
- 最初、あまりにも進度が速かった。もう少しゆっくりしてほしい。
- 議論を重ねるような内容もほしかった。

## 3. 総括

アンケート結果から、次年度への改善点を述べたい。

- 1) 15回の配分が悪く、各時代について進度にばらつきがあったことは認めざるを得ない。次年度以降は改善する。
- 2) 全体をまんべんなく、という意識が強く、個別史については、あまり時間を割かなかった。しかし、個別史はじっくり深く分析、解読する良い教材だと思うので、次年度以降は増やすことも検討する。
- 3) 議論する時間は、ほとんどなかった。もっと議論できるような内容を提示すべきだったと思うので、以降工夫していく。

次に、授業目的、到達目標、DPを踏まえて総括すると、目的の設定は問題なかった、といえる。しかし、到達目標1-2-2については、授業の内容がほぼ文献の読解に終始してしまい、到達目標の設定自体、よくばり過ぎた感がある。関連DPは先述した2つで、しっかり対応した内容になっていたと考える。